

《報道資料》

平成23年6月1日

社団法人 日本ケーブルテレビ連盟

社団法人 日本CATV技術協会

第23回 ケーブルテレビ功労者表彰の受賞者決定について

ケーブルテレビ関係2団体（社団法人 日本ケーブルテレビ連盟及び日本CATV技術協会）では、平成元年の「ケーブルテレビの日」（毎年6月16日）の創設を記念して、ケーブルテレビの普及・発展に努め、その功績が顕著な方（個人又は団体）に対し、功労者表彰を行っています。

今回、第23回目の功労賞について、さる4月28日（木）に、総務省様及び両団体の理事長による選考委員会の合意を得て、さらに連盟及び技術協会の機関決定を経て、添付資料のとおり、個人5名を表彰することに決定しました。

贈賞式は、「ケーブルショー2011」（9月27日（火））に執り行われます。

<担当>

(社)日本ケーブルテレビ連盟 築島 TEL 03-3566-8200

(社)日本CATV技術協会 嶋田 TEL 03-5273-4671

「第23回ケーブルテレビ功労者表彰」の受賞者一覧
(連盟 3名、技協 2名 計 5名) (敬称略)

1 (社)日本ケーブルテレビ連盟関係

- ・唐澤 俊二郎 連盟 名誉顧問
- ・砂川 典昭 沖縄ケーブルネットワーク(株) 専務取締役 (昨年11月逝去)
- ・金田 英郎 連盟 常務理事

2 (社)日本CATV技術協会関係

- ・渡辺 佳照 シンクレイヤ(株) 常務取締役
- ・坂東 嘉夫 (株)坂東通信工業 代表取締役会長
技協 四国副支部長

以上

受賞理由・功績概要（連盟 3名、 技協 2名 計 5名）

1 (社)日本ケーブルテレビ連盟

①唐澤俊二郎（(社)日本ケーブルテレビ連盟 名誉顧問 80歳）

- ・連盟役員：理事長 平成13年6月～平成22年6月 9年間
- ・日本ケーブルラボ：理事長 平成21年10月～現在に至る 2年間
- ・功績概要：平成13年から連盟理事長に就任、平成22年まで9年の長きにわたり重責を果たし、業界の発展に多くの功績を残した。特に、地上デジタル放送への切り替えに歩調を合わせた事業活動の展開を指導するとともに、区域外再送信問題にも先頭に立って取り組み、円満な移行に尽力した。また、政界等における幅広い人脈を駆使し、ケーブルテレビ業界のプレゼンス向上に貢献した。
- ・推薦母体：(社)日本ケーブルテレビ連盟

②砂川 典昭（沖縄ケーブルネットワーク(株) 専務取締役 昨年11月69歳で逝去）

- ・連盟役員：理事 平成元年6月～平成12年6月 12年間
支部理事 平成3年6月～平成22年6月 19年間
- ・功績概要：宮古テレビ(株)、沖縄ケーブルネットワーク(株)を立ち上げ、社業の発展に努めるとともに、連盟本部理事、同支部理事を長期にわたって務め、地域事業者の取りまとめや業界の発展に多大な貢献を果たした。
- ・推薦母体：(社)日本ケーブルテレビ連盟

③金田 英郎（(社)日本ケーブルテレビ連盟 常務理事 63歳）

- ・連盟役員：常務理事 平成19年6月～現在に至る 4年間
- ・功績概要：連盟常務理事として技術部門を担当し、(一般社団)日本ケーブルラボや(社)日本CATV技術協会との協同活動を通じて、新技術の取り込みなどに貢献。デジタル・サイネージの開発・事業化に尽力し、新たな発展の芽の育成に貢献している。
- ・推薦母体：(社)日本ケーブルテレビ連盟

2. (社)日本CATV技術協会

①渡辺 佳照（シンクレイヤ(株) 常務取締役 63歳）

- ・技協役員：平成14年6月～平成22年6月 (社)日本CATV技術協会 理事
平成20年2月～平成22年2月 JCTEA将来像検討委員会
WG1委員
- ・功績概要：本部理事を4期8年にわたり務め、技術協会の運営に尽力しその発展に多大な貢献をした。
また、JCTEA将来像検討委員会では、技術協会の中期事業方針を検討するWG1に参加し、中期の技術協会の事業の在り方、新規事業の開発等について豊富な経験と知識のもと積極的に検討委員会に参画し、その取りまとめに努めた。
- ・推薦母体：(社)日本CATV技術協会

②坂東 嘉夫（㈱坂東通信工業 代表取締役会長 74歳）

- ・技協役員：昭和51年4月～平成3年4月 ㈱日本有線テレビジョン技術協会（現在の日本CATV技術協会）四国支部幹事
平成3年4月～現在 ㈱日本CATV技術協会四国支部副支部長
- ・功績概要：昭和50年7月の当技術協会の発足当初から、四国支部の設立に尽力し、その当初から幹事・副支部長を務め、現在なお副支部長を務める等、四国支部の運営に尽力しその発展に多大な貢献をした。
また、多年にわたり徳島地区の調査部会長として徳島県内の受信障害解消調査・対策に努めるとともに、同県のテレビ電波事情を踏まえた対策等に県内会員の先頭に立って、県内の良好なテレビ電波の受信環境の確保に努めた。
さらに、近年は地上デジタル放送の完全移行に向け、受信調査等を積極的に実施するなど地デジ移行促進に寄与した。
- ・推薦母体：㈱日本CATV技術協会

<今後のスケジュール(案)>

9月27日（火） 贈賞式（ケーブルショー2011 開会式直後の贈賞式）

以上